

日本の民间传说～很久很久以前～

稻草富翁



很久很久以前，某个地方住着一位非常贫穷的年轻人。有一天，年轻人到寺庙向观音菩萨虔诚地祈求。“观音菩萨，请让我变成有钱人”。就在那时，观音菩萨出现在他面前说道：

“你离开这座寺庙后第一个抓到手里的东西，要好好珍惜”。

年轻人听了这话马上就走了。刚要出寺庙就被什么东西绊倒了。站起来时手上抓了根稻草。年轻人想这就是观音菩萨所说的抓到的东西，虽然只是根稻草有点失望，但还是照观音菩萨所说小心地拿着往前走。

走了一会儿，有牛虻嗡嗡地飞来飞去。年轻人抓了一只绑在稻草上。拿着稻草往前走，在路边遇见了一个正在哭泣的孩子。孩子看到年轻人手上拿着的牛虻立刻停止哭泣笑了起来。于是年轻人把稻草给了孩子。作为报答，孩子的母亲给了年轻人橘子。

年轻人拿着橘子继续往前走，这次看到路边有个看起来很难受的姑娘。姑娘口渴得非常难受。年轻人递上手里的橘子，姑娘非常高兴。于是作为报答，给了年轻人布匹。

年轻人拿着布匹继续往前走，这时走来个牵着一匹没有精神的马儿的男子。男子看到年轻人的布匹后，说能否和我的马儿交换。没办法年轻人只能做了交换，但那匹马儿看着就要倒下了。年轻人整个晚上都在尽力照顾那匹马儿。到了第二天，马儿恢复了精神。年轻人带着精神奕奕的马儿往前走，看到一座大宅院，前面站着一位男子。男子见了马儿说道：“真是匹好马。我正要出远门，但没有马。我把这座房子和土地给你你能不能把马给我”。就这样，年轻人最后成为了大宅院的主人。可喜可贺！可喜可贺！

にほんむかしばなし 日本の昔話～むかし、むかし～

わらしべ長者

昔々ある所にとても貧しい若者がいました。ある日若者はお寺に行き、観音様に熱心にお祈りしました。「観音様、どうか私をお金持ちにしてください」。すると観音様が現れ「それではこの寺を出て1番最初に手につかむ物を大切にすることが良い」といいました。

それを聞いた若者が、歩き出した途端のこと。寺を出た所で何かにつまづいて転んでしまいました。立ち上がった時には、手に藁(わらしべ)をつかんでいました。若者は、観音様が言われた通りつかんだ物が、ただの藁であったことに少しがっかりしましたが、言われた通りそれを大事に持って歩き始めました。少し行くと蛇がぶんぶん飛び回っていました。若者は蛇を1匹捕まえて、藁にくくりつけました。それを持って歩いていると、道端で泣いている子供に出会いました。子供は若者が手に持っていた蛇を見ると、急に泣き止んで笑い出しました。そこで若者は子供にそれをやりました。すると子供の母親がお礼にと若者に蜜柑をくれました。

若者が蜜柑を持ってまた歩いていくと、今度は道端で苦しんでいる娘に出会いました。娘は喉が渇いて苦しんでいたのです。若者が持っていた蜜柑を差し出すと、娘は大変喜びました。そして助けてくれたお礼にと、反物をくれました。

若者が反物を持ってまた歩いていくと、元気がない馬を連れてた男が歩いてきました。男は若者の反物を見ると、馬と交換しないかと言いました。しょうがないので交換してやりましたが、馬は倒れそうです。若者は馬を一晩中、一生懸命看病しました。すると次の日、馬はとても元気になりました。元気になった馬をつれて若者が歩いていくと、大きな屋敷があり、その前に男が立っていました。男は馬を見ると「大変立派な馬だ。実は私はこれから旅に出るのに馬がない。この屋敷と土地をお前にやるから馬を私にしてくれないか」と言いました。こうして若者は、最後には大屋敷の主となりました。めでたしめでたし。